

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成13年6月4日 第10報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	100		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	70		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	24		
(珪) <i>Acnathes minutissima</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	20		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	40		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	6		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	12		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	204	72.3	12.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	60	21.3	7.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	18	6.4	80.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	282	総体積	5.45E+05
種類数	8	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Bosmina longirostris</i>	1600

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Ploesoma truncatum</i>	60

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



***Melosira granulata*
*var. angustissima***
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞の直径は基本種よりもはるかに小さい。
殻高は直径の数倍に達する。

動物プランクトン第1優占種



Bosmina longirostris
(ゾウミジンコ)
甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い
ためゾウミジンコと呼ばれている。

コメント:

植物プランクトンの総細胞数では珪藻類が優占種であったが、総細胞体積では緑藻類が優占種となった。動物プランクトンはゾウミジンコが今週も非常に多かった。